

おかあさん (1952)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 100分

初公開日 1952/06/12

【解説】

1951年に出版された『おかあさん—全国児童綴り方集』を元に水木洋子が脚本を書き、成瀬巳喜男が監督したヒューマンドラマ。数ある成瀬作品の中でも評価の高い一本。戦後ようやくクリーニング屋を再開した福原家。店は父の弟子である木村のおじさんが手伝ってくれていた。しかし長男と父を相次いで亡くしてしまい、母は女手ひとつで店を切り盛りすることになってしまった。やがて次女の久子が嫁に行き、木村も自分の店を持つために出て行った。残されたのは母と長女の年子、それに新しい小僧だった。

【クレジット】

監督 成瀬巳喜男

製作 永島一郎

製作補 青山硯

脚本 水木洋子

撮影 鈴木博

美術 加藤雅俊

編集 笠間秀敏

音楽 斎藤一郎

助監督 石井輝男

出演 田中絹代

香川京子

三島雅夫

中北千枝子

榎並啓子

片山明彦

岡田英次

加東大介

鳥羽陽之助

三好栄子

一の宮あつ子

中村是好

本間文子

沢村貞子

永井柳太郎

伊東隆

小倉繁

福原正子

長女・年子

正子の夫・良作

正子の妹・栗原則子

年子の妹・久子

年子の兄・進

Eiji Okada 平井信二郎

木村庄吉

良作の弟

年子のおばさん

良作の義妹・こよ

信二郎の父・信造

信二郎の母・みの

小物屋・おせい

廃品回収人

則子の息子・哲夫

客

